

動薬協会発 119 号  
令和 2 年 11 月 9 日

公益社団法人日本動物用医薬品協会  
会員各位

公益社団法人日本動物用医薬品協会  
理事長 池田 一樹  
(公 印 省 略)

香川県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認に伴う監視体制の  
強化について

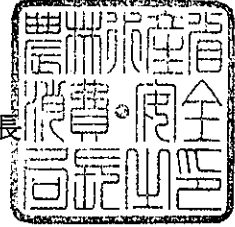
平素より協会事業にご理解とご支援を賜り、御礼申し上げます。

さて、標記のことについて、別添のとおり消費・安全局長通知（2 消安第 3485  
号）がありましたので、お知らせします。

2 消安第 3485 号  
令和 2 年 11 月 5 日

公益社団法人 日本動物用医薬品協会理事長 殿

農林水産省消費・安全局長



香川県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認に  
伴う監視体制の強化について

日頃より、我が国の家畜衛生の推進に御理解、御協力頂き、厚く御礼申し上げます。

このことについて、別添のとおり都道府県知事宛て通知いたしましたので、御了知の上、貴職におかれましては、会員各位に周知いただきますよう御協力をお願いします。



写

2 消 安 3 4 8 5 号  
令和 2 年 11 月 5 日

都道府県知事 殿

農林水産省消費・安全局長

香川県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認に伴う  
監視体制の強化について

昨日、香川県内の鶏飼養農場において死亡鶏が増加した旨、香川県に対して通報があり、高病原性鳥インフルエンザの遺伝子検査を実施したところ、本日、H5亜型であることが確認されました。このことから、高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針（令和2年7月1日農林水産大臣公表。以下「防疫指針」という。）に基づき、当該死亡鶏について、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と判定しました。

高病原性鳥インフルエンザの防疫対策については、「北海道で採取された野鳥の糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された事例に伴う防疫対策の再徹底について」（令和2年10月30日付け2消安第3417号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）により、万全を期すようお願いしているところですが、今般の事例は、平成30年1月の発生以来の国内における発生事例となりますので、改めて、早期発見・早期通報の徹底並びにウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した農場内及び家きん舎内への侵入防止対策について、指導又は助言を実施するようお願いします。

また、防疫指針第4の1の（1）にあるとおり、家きん所有者等から異常家きんの通報を受けた場合には、万一の際の防疫対応に係る準備・調整を円滑に行うため、その情報を直ちに当局動物衛生課に報告するなど、迅速かつ的確な初動対応の実施につき、遺漏なきよう改めてお願いします。